

**農業科の生徒3名が、水戸中央青果株式会社を訪問
～サツマイモの出荷状況や市場価格などについて聞きました～**

令和5年12月20日（月）に、農業科3年生1名、農業科1年生2名の生徒が水戸市公設市場内の水戸中央青果株式会社を訪問して、担当者からサツマイモの出荷状況や市場価格などについて聞きました。

今年度、農業科ではサツマイモの研究に取り組んでいます。今回は、流通関係者から「高値が狙えるサツマイモの出荷時期」などについて聞いて「儲かる農業」につなげたいと考えて訪問しました。

総務部長の中崎芳夫様から「水戸中央青果株式会社の概要」など、野菜部部長 小林成人様から「直近のサツマイモの出荷状況」「近年開発された新品種の出荷状況と課題」などについて説明していただきました。

また、市場に出荷された「べにあずま」や「クリカグヤ」などを見せていただき、Lサイズが最も高値で取引されることなどがわかりました。

さらに、学校では、キュアリング施設がないので、高品質かつ収量を高める栽培方法を研究して、10月下旬までに収穫・販売する計画がよいとアドバイスや、「農業について広い視野をもって学習してもらいたい」「農業後継者になるために人脈づくりが大切である」などと生徒へ激励の言葉をいただきました。

水戸中央青果株式会社のみなさんには、年末のお忙しい中、対応していただきありがとうございました。

【説明していただいた主な内容】

1 水戸市公設卸売市場、市場の利点など

- (1) 昭和47年に茨城県知事の許可を受けて開設。青果、水産、花き、関連食品のそろった総合市場である。
- (2) 市場の収入は手数料。手数料は、野菜、果物などに区分して取引価格の何%になるか決められている。
- (3) 市場は、現金取引が主体。生産者の利点として、出荷後すぐに現金を得て、資材購入などに使える。
- (4) 水戸中央青果株式会社は、昭和46年2月設立、社員数92名、年間取扱高183億円（令和4年度）。
- (5) 水戸中央青果株式会社ホームページ [【水戸中央青果株式会社 \(mitoseika.co.jp\)】](http://mitoseika.co.jp)

2 サツマイモの出荷分類と価格

- (1) サイズは、3L、2L、L、M、S、2Sの6分類。
- (2) 外観は、秀（A品）、優（B品）、良（C品）の3分類。形は、長、丸の2分類。
- (3) 5kg箱で、Lが1,200円の時、およそ2Lが900円～1,000円、3Lが600円、Mが1,000円、Sが700円～800円、2Sが500円～600円となる。年明けは焼き芋用で、MがLと同程度になる傾向。
- (4) 丸形は、長形の半値になることがある。

3 サツマイモの市場価格の変動

- (1) 8月出荷は、新物5kg約1,000円でスタート。消費者は甘さを重視して、以前より高値が出にくい。
- (2) 新物は甘さが不足。保存技術が向上して、前年産でも品質がよく甘いので、新物を敬遠する消費者もいる。
- (3) 価格が高い時期は、9月下旬～10月下旬、Lが5kgで1,200円、サツマイモの収穫時期に重なる。
- (4) 11月以降は、霜害を受けたイモが出荷されることもあり品質が低下する傾向にある。
- (5) 11月下旬は、蔵に入らないものが大量に出荷されて、供給量が増える。
- (6) 11月出荷は、価格が低い（Lが5kgで800円～1,000円、その他500円～800円）ので、避けた方がよい。
- (7) 12月中旬は、年末需要で引き合いが強い（2Lが5kgで1,000円～1,200円）。
- (8) 12月末まではLの次に、2Lの需要が高く、M、Sの需要はほとんどない。年明けからはLの次に、Mの需要が高くなる。焼き芋への利用が考えられる。
- (9) 市場価格を確認しながら、年内はL、2Lを、1月以降はL、M、Sを出荷するとよい。
- (10) 5月連休明け～6月上旬（1週目）までは、単価が高い。理由は、各産地が、苗の植え付け作業で、出荷に手が回らずに品薄になるため。倉庫に貯蔵イモがあっても手間がないので出荷できない。

4 新品種などの出荷状況

- (1) 「くりかぐや」は、外観がきれいで比較的栽培が広まっている感じを受ける。味はよいが、11月を過ぎると色が薄くなるので販売しにくくなる。色が薄くなる原因は不明。
- (2) 「あまはづき」は、収穫後すぐに甘い、傷みやすい。長期保存できないので、これまでのサツマイモと扱い方が異なる。消費者に受け入れられるか不透明で、市場での取り扱いが難しい。
- (3) 「ひめあずま」は、現時点で、市場に出荷されたことがないので、扱ったことはない。
- (4) 「べにはるか」を超える品種は、なかなか出ないだろう。

表 サツマイモの主な品種

品種名	公表日	主な特性
ひめあずま	2022 年 11 月 15 日	2023 年から栽培。ベニアズマの後継品種として期待。
くりかぐや	2021 年に「HL1」 品種登録出願	2023 年から栽培。粉質ほくほく系。カネコ種苗が開発。
あまはづき	2021 年 8 月 5 日	早掘り用。8 月頃からねっとり甘い焼き芋をつくれる。
べにはるか	2007 年 12 月 21 日	蒸しいもの糖度が高く、食味は良好。いもの外観が優れ、線虫抵抗性を示す。

※表は、インターネットで調べた情報をまとめた。「くりかぐや」以外は、農研機構が開発。

【訪問のようす】



説明を聞く生徒



水戸中央青果株式会社の担当者



説明資料



サツマイモの取引場所
市場での取引方法について説明



生産者から出荷されたサツマイモ



出荷されたサツマイモを確認



等級・階級の表示



ベニアズマ



くりかぐや
色が薄くなっている



業者購入後のサツマイモ置場
箱が反転→取引済のしるし



生徒のお礼の言葉



11/20 教員が事前訪問
生徒の訪問の打ち合わせ